

人名考 准后准三后考

宙



内閣文庫			
三五函	一八六三		和書
三八架	四八		類
	冊	號	

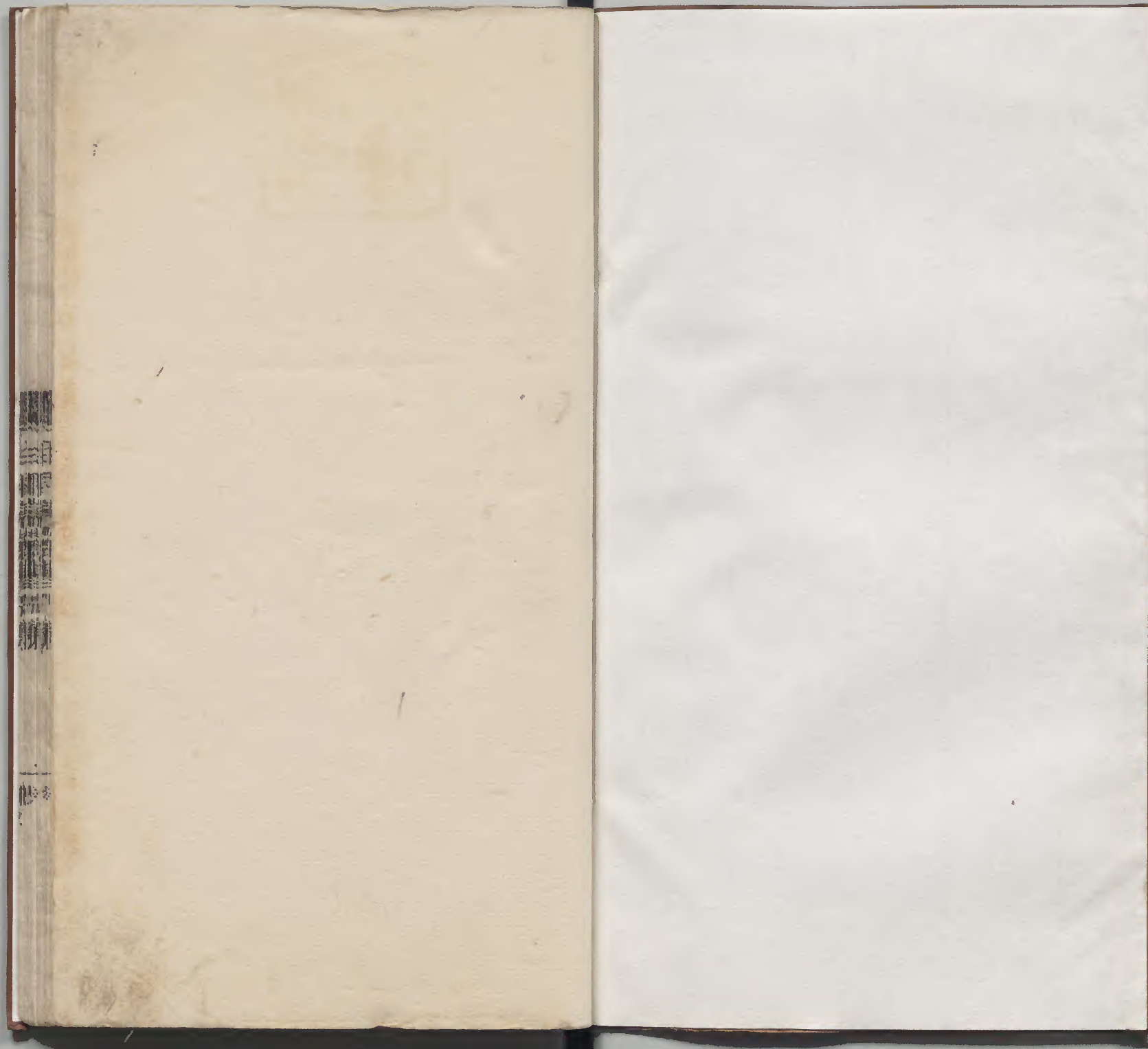
類抄叢聚 十五

甘雨亭叢書

内閣文庫	
番號	和 18683
冊數	48 ( 46 )
函號	217 47







非交風  
藏書

日  
府  
書  
圖

人名考

淺草文庫

Seal impression



人名考

人名考

新井君美 著

本朝の人の名漢字を用ゐるは、此より或は文字の音を以てする

鬱色雄命ウチシロコと云ふは、後代に不比等フヒト武智磨ムチマの

名に同じ

或は文字の訓を以てする

大考命オホヒコと云ふは、後代にも入鹿イルカ鯨足カサギなどの名に

おる

甘雨江護書刊集

人名考

一

或々文字の音と訓とを以て併せり

吉備津彦の初の上二字を音り下二字ハ訓なり後此

代々も藤原の長良も上を初なり下を音なり

其人の意の役も信りあるり此ハ文字の初も定り

不<sup>フ</sup>比<sup>ヒ</sup>等<sup>ト</sup>不<sup>フ</sup>史<sup>シ</sup>登<sup>ト</sup>とあり鳥<sup>ウ</sup>養<sup>カ</sup>を又<sup>ウ</sup>早<sup>サ</sup>合<sup>カ</sup>とあり長<sup>ハ</sup>谷<sup>セ</sup>雄<sup>ヲ</sup>

を<sup>ハ</sup>昭<sup>カ</sup>とあり一<sup>ハ</sup>人<sup>ノ</sup>の<sup>名</sup>と或も音りてあり

或ハ初<sup>ハ</sup>とあり○古<sup>ハ</sup>より本朝の人々の名を以て

異朝の如く或の如くあり是等の事悉く

考<sup>ハ</sup>る<sup>ハ</sup>とあり草<sup>ハ</sup>按<sup>ハ</sup>とあり其のあり事長り此の如く

とあり

五十四代の帝 仁明天皇の御時より始り今の代の人々の如

く多<sup>ク</sup>ハ文字の初を以て二字と用<sup>ハ</sup>る事あり

此事ハ神皇正統記にあり

けれども昔の人々の用りてある定むる文字ありて多<sup>ク</sup>ハ聖經

賢傳の文字を取用りて其の意義ありて其の如くありて世

の末より其の如くありて其の文字や摩訶<sup>ハ</sup>り世の人多<sup>ク</sup>ハ古

人の多<sup>ク</sup>ハ用<sup>ハ</sup>りて文字の如くありて其の如くありて其の

如くありて其の如くありて其の如くありて其の如くあり







かくしつものり一人の名字を其先師一世が廣くわたり  
 ありし世の人けりしは書を授けたりと云ふ事あり  
 耶しむる油小路故大納言隆真卿のけりしは近代の人  
 の名跡り浅き事ありし事ありし拾政等の書か抄出さ  
 たりし事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし  
 事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし  
 隆真卿の説ハ甚く神書を授一人のけりし事ありし  
 事ありし事ありし此卿ハ在代の有職の人ありし事ありし

右を世の人の名の字ありし事ありし事ありし事ありし  
 事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし  
 又師ありし事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし  
 事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし  
 事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし  
 何人の仰やまき事ありし事ありし事ありし事ありし  
 事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし事ありし  
 尾院の御諱政仁をまき事ありし事ありし事ありし事ありし













刑一の山はなすりていふ其の冊を控一といふ  
 古人抄録をいふを述一はさう取一の意見を加へ  
 す此とていふは古人の抄録をいふは控一といふ所  
 ち多き一核一私考を作て家一秘本今一の草書  
 以て其の書を用いす一はの一秘本なり又  
 何をいふ一は別本をいふ場一は書一其を  
 是也一冊子に收め入るは其の文字を控一といふ  
 ともいふは控一は別本をいふ拾遺節用等の書一  
 一は一は書一ぬはの文字一は多く文字の制もさ

拾遺節用等一は多一むは控書一は一細一  
 是を考一は書一は名一名字抄一は一  
 洞院殿の御記の成の字を房一制一は字抄一は  
 一は一今復書の成の字の制一房一は訓一を  
 一は一古の名字抄一は一は一  
 又少一は一は文字の音一は一異朝一  
 一は一字彙の音一は一は一本朝一  
 一は一音一は一は一古書一は一  
 一は一又古人の多一は一は一は一





